

YUFU CITY INFORMATION MAGAZINE

あらかしの森^もの林通信



● 由布市の初議会が開会

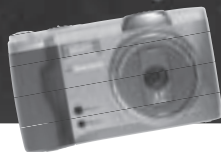
● 農業委員紹介

● 祝 秋の叙勲・褒章

師走



街を照らすイルミネーション



あらかしの森林(もり)通信の意味は？

「あらかしの木」は由布市に分布するブナ科の常緑樹です。

この木は粘り強く硬い木で、日本建築の組み木の止め栓として活用されています。この「あらかしの木」が森となるには、長い年月を要します。

私たちの「由布市」は、このあらかしの木の生態と特質をまちづくりに例えて、挾間・庄内・湯布院の風土、文化を大切に継承しつつ、新生「由布市」のまちづくりを市民と行政が協働の精神の中から「日本一の桃源郷」づくりを目指しています。『あらかしの森林(もり)通信』はそのための情報資料です。

CONTENTS

- 1 表紙
- 2 スナップ テーマ：師走
- 3 由布市の初議会が開会
- 4 正副議長が決まりました
(議会構成紹介)
- 5 農業委員紹介
- 6 祝 秋の叙勲・褒章(市内関係者紹介)
- 7 文化の日・知事表彰者紹介ほか
- 8 碩南高等学校が「由布高等学校」に
- 10 市政だより
●各種お知らせ
- 15 ★キラリ編集

- 12 みんなの広場
- 11 新着本紹介
- 10 図書館だより
- 8 まちかどズームアップ
- 5 大にぎわい！秋の催し
- 4 View ゆふ
- 3 ハッピーバースデー／さわやかキッズ
- 2 まちのスポットライト
- 1 リア・ウインドウ

表紙紹介 12月はクリスマスシーズン。街は美しい飾りでにぎわいます。由布市を代表する山・由布岳もうっすらと雪化粧をする時期となります。窓の外には由布岳を包み込み、来年への新たな希望が広がる師走の夜が見えます。

発行元

由布市役所庄内庁舎総務部総合政策課
〒879-5498 由布市庄内町柿原 302 番地
TEL097-582-1111 FAX097-582-3971

人の動き

●総人口 ————— 36,766 人 (-16)
●男 ————— 17,658 人 (-7)
●女 ————— 19,108 人 (-9)
●世帯数 ————— 13,810 戸 (+3)

12月1日現在()は前月比

由布市の 初議会が開会!!

市議会議員選出後の
臨時議会が開かれました

由布市発足に伴い、市議会議員選挙後初の由布市議会となる、臨時議会が11月16日から18日まで開かれました。

今回は合併に伴う暫定予算や条例制定の専決処分の承認案や人事案件が提案されました。また、正副議長人事や各常任委員会の構成も決められ、由布市議会が本格的に始動となりました。

なお、首藤市長の施政方針等につきましては次号で掲載予定です。



▲ 提案説明する首藤市長

市議会正副議長が決まりました

11月16日の臨時議会では正副議長選が行われました。その結果、初代議長に**後藤憲次氏**、副議長に**久保博義氏**が選出されました。

なお、議会構成は次のとおりです（敬称略）。

総務常任委員会

- ▽委員長：生野征平
- ▽副委員長：淵野けさ子
- ▽委員：小林華弥子

文教厚生常任委員会

- ▽委員長：溝口泰章
- ▽副委員長：田中真理子
- ▽委員：高橋義孝 佐藤友信

建設水道常任委員会

- ▽委員長：佐藤正
- ▽副委員長：佐藤人巳
- ▽委員：藤柴厚才 利光直人

観光経済常任委員会

- ▽委員長：西郡均
- ▽副委員長：太田正美
- ▽委員：立川剛志 新井一徳

議会運営委員会

- ▽委員長：二宮英俊
- ▽副委員長：新井一徳
- ▽委員：西郡均 江藤明彦

監査委員

- 吉村幸治 生野征平
- 山村博司

農業委員

- 江藤明彦 小野二三子
- 三重野精二

由布大分環境衛生組合議会議員

- 高橋義孝 立川剛志 佐藤郁夫
- 工藤安雄 丹生文雄 山村博司



▶ 臨時議会出席の議員

議長就任あいさつ



由布市議会議長
後藤 憲次

本年10月1日、旧挾間町、庄内町、湯布院町の3町が合併し、由布市が誕生いたしました。

10月30日には市長並びに市議会議員の選挙が執行され、いよいよ本格的に新市としての第一歩を踏み出しました。

私は11月16日に開会されました由布市臨時議会（初議会）において、26名の議員の代表として、歴史の節目に栄えある由布市の初代議長に選任され、その職責の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいでございます。

この合併に当たっては、様々な問題で議論は難航しましたが、協議を重ねる中で意見調整の結果、今日に至りました。各町独自の施策について今後

検討すべき課題はありますが、それぞれの歴史的経緯を十分に尊重しながらよりよい方向を見出せばと考えています。合併をし、議員一人一人が担う責任の大きさは、旧町時代の比ではなく、市の発展を常に考え、市全体の視野に立って物事を判断しなければなりません。

旧町意識が残る合併直後だからこそ、“えこひいき”は絶対にしてはならない、新市の融和に最も必要な公平性を持つことで1日も早く市の一体感をつくりたいと考えています。

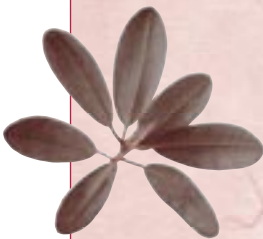
さて、ご承知の通り、我が国の人口は少子高齢化により、これからいよいよ減少する時代に突入します。また、地方分権の推進により自治体への権限移譲は更に進むことが予想され、地域のことは地域で決める、いわば自主自立のまちづくりが求められます。

このような新市を実現するためには、市民や地元企業、そして行政が一体となり、協

働型社会の創造を図らねばなりません。地域で暮らす人々がお互いに支え合い、3万7千由布市民一人一人が安心して暮らせる活力とやすらぎのある新市の実現が望まれます。それぞれの歴史と伝統を理解し合い、その融和による相乗効果を由布市発展の原動力としたいものです。

戦後60年が経過し著しい成長を遂げた我が国経済も、近年は長引く不況により低迷を続けています。地方自治体を取り巻く環境も極めて厳しく、行財政の効率化は最重要課題となっております。私は議員としてこのような状況下に置かれていることを前向きにとらえ、議会が本来の機能を的確に発揮できますよう全力で職務に邁進する覚悟でございます。

市民皆さま方のご理解とご指導をお願い申し上げます。議長就任のご挨拶と致します。



今回の議会では由布市役所の位置を定める条例、町の区域の設定や由布市一般会計暫定予算など20件の専決処分を承認。

また、由布市火災予防条例改正案や人事案など16議案について審議可決となりました。人事案については無記名投票となり、同意となりました。

選任された各委員は次のとおりです（敬称略、順番は議案提出順による）。

【教育委員】

- 清永 直孝（挾間町）
- 二宮 勝利（庄内町）
- 衛藤 公臣（湯布院町）
- 足利 能彦（〃）
- 土山 和美（挾間町）

【固定資産評価審査委員】

- 油布 文男（挾間町）
- 永松 良雄（庄内町）
- 石川 宏（湯布院町）

【監査委員】

- 吉村 幸治（市議会議員）
- 宮崎 亮一（挾間町）

【公平委員】

- 中山 敬三（大分市）
- 小野 哲蔵（庄内町）
- 加藤 邦広（挾間町）

第1期由布市農業委員会委員が決定



由布市農業委員会は選挙委員32人、選任委員（市議会、農協、農業共済、土地改良区の推薦）8人の合計40人で組織しています。合併特例法の適用により、選挙委員の任期は平成18年9月30日までとなります。
農地のことはお気軽に、お近くの農業委員にご相談ください。

【会 長】油布丁一(挾間町) 【副会長】鶴岡正昭(湯布院町)、上山益弘(庄内町)

由布市農業委員名簿

氏 名	担 当 地 区	氏 名	担 当 地 区
油布 丁一	上市、鶴田、下鬼崎、時松、茅場	鶴岡 正昭	塚原
上山 益弘	畑田、猪野竹の下、長野、葛原	佐藤 榮一	谷中村、小野、阿鉢、篠原
加藤 貞一	乙丸1・2・3、新町1・2・3	日野 正富	櫟木、蛇口、五福、小野屋
鶴原 孝晴	原中、井手下、上重、直野内山	安部 義隆	田代、詰、来鉢
古長 一郎	湯平1・2・3、畑	森 清巳	日ヶ暮、永十、伊小野、栢ノ木、高津原、中村
小野 廣	挾間地区全般		
日野 喜八	前徳野、内徳野、槐木、畑倉、奥江、下津々良、上津々良、鮎川	藤松 晴人	古野、三船
	板井 壽一	刈5区、刈6区、刈7区	河野 修身
工藤 弘武		谷東部、東ノ山、山田、中恵、酒野	櫻木 三雄
工藤 正春	高津透内、久保、瀬口、中尾	吉良 忠幸	
佐藤 一富	谷地区全般	山月 良雄	向原、挾間中村、柏野、鬼瀬、池ノ上
小野 萬寿蔵	庄内地区全般	宮崎 聖司	北方、下市
大隈 康利	中依、下依	日野 國人	筒口、田ノ小野、同尻
挾間 良信	朴木、赤野、丸田、東行、海老毛	江隅 鎮雄	小平、幸野、水地
		大嶋 久治	柿原1・2区、野畑3・4区
小野 忠政	平石、下武宮、中武宮、上武宮、藁草、東家、小原	安部 元生	宗寿寺、竹の中、影戸、柚の木、小挾間
		浦田 正富	岳本、津江、湯の坪、中島
大久保 忠雄	荒木、石武、光永	那須 克博	龍原、五ヶ瀬
田中 照男	東石松1・2・3、西石松、山崎、平	佐藤 修二	高崎、山口、七蔵司、中台
穴井 正義	並柳、若杉、佐土原	小野 二三人	石城、由布川地区全般
江藤 明彦	中川、川西、湯平、下湯平		
三重野 精二	庄内地区全般	田北 トシ江	庄内地区全般

(名簿の順番は左・右へと下りていき、役員に続いて議席順 ※敬称略)

受章おめでとうございます

秋の叙勲・瑞宝重光章



糖尿病専門医として活躍
高木 良三郎 さん(77)
由布市挾間町医大ヶ丘3丁目

45年間大学での研究では糖尿病の専門医として活躍。「がむしゃらにやった自分なりの仕事が認められ、ありがたく思います」と受章の感想を述べました。

当初はガンについて研究を始め、米国での研修を契機に糖尿病に携わることとなりました。

昭和30年から細胞バイオに取り組み、すい臓の株細胞のはたらきなどに着手。その後の糖尿病研究の重要な手がかりとなっています。1992

年に当時の大分医科大学学長に就任。98年には大分医科大学名誉教授となりました。

動脈硬化、血圧、コレステロール、内臓脂肪などには特に注意が必要だそうです。

「毎日、自宅近所を歩いているんだよ。今日は、このくらい歩いたけど」と万歩計を見せてくれました。運動も糖尿病予防には大切です。

「今後は患者、若いドクターの知識の普及に微力を捧げた」と抱負を話してくれました。

秋の褒章

障害を克服して理容業二筋 黄綬褒章

田口 一市さん(69) 由布市挾間町挾間



「夫婦二人三脚ですので」と一緒に。

44年間理容業を営む一方、5年前からは県聴覚障害者協会理事長に就任。「私を支えてくれた皆さんに心から感謝したい」と受章の感想を話してくれました。

現在でも自宅店舗で理容技術の向上につとめ、街の理容店として定着しています。

「これからも一層がんばっていききたい」と手話を交えて話してくれました。

地域の安全は地域で守る 藍綬褒章

首藤 昂史さん(60) 由布市挾間町高崎



「受章は団員皆さんのおかげであり、感謝したい」とコメント。およそ40年間に渡り、旧挾間町消防団活動に務めてきました。現在も挾間地域の消防団のまとめ役として活動しています。

合併後の消防団改編時期を迎え、今後取り組む課題も多いようです。「改編には全力であたりたい」。また団員の高齢化が進む中、「若い団員の確保が急務」と言います。

文化の日 知事表彰



シイタケ栽培の

技術向上に努めて

後藤 文生さん(62)

由布市庄内町西

後藤さんは中核農林家としてシイタケ栽培に取り組んでいます。今回、生産技術の向上に努め、地域産業発展に尽力した功績が認められ、受賞となりました。

「表彰をいただけるとは思いませんでした」と驚きの様子。「これからも良いシイタケを作っていきたいですね」と決意を新たにしてくれました。



振り込め詐欺にご用心!

振り込め詐欺(恐喝)には、いわゆる

「オレオレ詐欺(恐喝)」、「架空請求詐欺(恐喝)」、「融資保証金詐欺」の3種類があります。

オレオレ詐欺の手法と対策

被害者の約8割が女性。特に高齢の女性に被害が集中。

最近のいわゆる「オレオレ詐欺」事件は、警察官、弁護士、保険会社社員などを装って電話をかけ、「ご主人が交通事故を起こしました」などと言って示談金名目の現金を振り込ませるケースが増えています。また、暴力団員などを装い、「お宅の息子が貸した金を返さない」などと借金の返済を要求するケースも登場してきました。

被害にあわないための電話の応対方法

- ①自分から先に夫・子どもなどの名前を呼ばず、相手から先に名乗らせる。
- ②相手に家族の名前・住所などを聞き、本人かどうか確かめる。
- ③電話を切ったあと、本人・家族・関係者と連絡をとり、事実を確認する。
- ④事実が確認できないときは振り込まない。

架空請求詐欺の手法と対策

被害者の約6割が男性。特に若年層への有料サイト利用料金請求が最多。



最近の架空請求の手法として、請求書に振込先の銀行口座を明記せず、指定の携帯電話番号に連絡させて振込口座を指定するケースや、迷惑メールに記載されたURLをクリックしただけで高額な利用料金を請求するケースなどが増えています。

被害にあわないための対処方法

- ①身に覚えのない請求のメールは無視し、請求の電話に対しても断固拒否する。
 - ②不審なメールに記載されているURLにはアクセスしない。
 - ③相手に直接連絡をしない、自分の住所・氏名を教えない。
- ※念のために請求書や請求メールは保存しておきましょう。

融資保証金詐欺の手法と対策

実際に融資しないにも関わらずDMやメールで融資の勧誘を行い、電話等で申し込みをした客に対し、「あなたは借入金多数として登録されており、融資することができません。ただし、保証協会費を納めてそのデータを抹消すれば再び融資を受けることができます」などと告げ、指定口座に現金を振り込ませるものです。

被害にあわないための対処方法

融資の前提として現金を振り込ませることなどで、正規の貸金業者ではあり得ないことです。決して信用して振り込まないでください。



振り込め詐欺かなと思ったら、警察の相談窓口(＃9110)が最寄りの警察署に相談ください。緊急の場合は110番通報してください。

由布市唯一の県立高等学校 碩南高等学校が「由布高等学校」に 校名変更への取り組みへ



▲創立60年をこえる碩南高等学校

由布市庄内町にある大分県立碩南高等学校は、校名を「大分県立由布高等学校」へと変更する取り組みをしています。既に、10月28日の大分県臨時教育委員会で校名変更の議案は承認され、順調にいけば、平成18年4月1日より由布高等学校が誕生する運びとなります。

碩南高等学校は由布市にあるただ一つの県立高等学校であり、これまでも地域に根ざした高校として取り組んできました。今回の校名変更は、由布市誕生を契機に、より一層地域との連携を保ち、地域に密着した学校教育を推進することを目的としています。

経

- 平成16年11月7日
同窓会総会にて「校名変更」が議題となる。
- 平成17年5月9日
同窓会理事会にて「由布高等学校」として総会に提案することを決定。
- 同年5月15日
PTA総会にて、校名を「由布高等学校」に変更する取り組みを議決。
- 同年5月27日
生徒総会にて校長が校名変更の趣旨を説明。生徒の賛同を得る。
- 同年5月30日
学校評議委員会が校名変更に賛同する。
- 同年7月22日・25日
大分郡旧3町長、町議会議長が校名変更申請者として連名となる。
- 同年8月6日
同窓会総会にて校名変更を議決、その推進に取り組むことを決定する。
- 同年8月9日
同窓会長、PTA会長、大分郡旧3町長、町議会議長が県教育委員会へ請願書提出。
- 同年9月26日
学校長より教育委員会へ校名変更を申請。

学校の歩み

- 昭和16年 4月11日 ● 私立庄内実科高等女学校としてスタート
- 昭和30年 4月 1日 ● 県立碩南高等学校定時制として発足
- 昭和37年 4月 1日 ● 庄内校舎に統合し、全日制普通課程に改め、大分県立碩南高等学校になる
- 昭和59年 3月28日 ● 郷土芸能保存館竣工
- 平成 4年 9月30日 ● 創立50周年記念式典
- 平成 8年 3月28日 ● 第二グラウンド完成

現在



▲庄内神楽祭り出演の郷土芸能部



秋吉和也さん

(湯布院町・3年)

少し寂しい感じもあります。僕たちが卒業しても、碩南のよい伝統は守ってほしいですね。



麻生七恵さん

(庄内町・3年)

まだ実感はありません。碩南高校の最後の卒業生になるのはうれしい感じもします。これからも大いに発展してほしい。



森健一さん

(挾間町・3年)

碩南高校の最後の卒業生になるのは不思議な気持ちです。由布高校として新しいことにチャレンジしてほしいです。



森田和美
PTA会長

由布市誕生に合わせ、本校PRの良いインパクトになるのではないのでしょうか。周囲の環境はすばらしい中、校名変更を契機に大いに飛躍してほしいですね。PTAとしてどう取り組んでいくか、考えていきたいと思ひます。



宮崎照邦
校長

碩南という名は、大分市碩田の南(南大分あたり)を指すことから、校名の変更話は以前から話題に出ていました。今回の例のように学校形態はそのままでの変更は特異な例なんですよ。今は授業単位などの変更もあり、地元大学への推薦入学への道にも対応し、地域密着を深めています。



江藤清志
同窓会長

学校をとりまく環境が厳しい中、由布市唯一の県立高等学校を守らなければ、地域や子どもたちに大変なマイナスになります。地域、学校やPTAが連携をとって、地域密着型の高校を目指している中、今回の校名変更を契機に、由布市の発展につながってほしいですね。



溝口辰規
生徒会長(2年)

僕はラグビー部に入っていますが、部活のユニフォームはどうなるんだろうかという思いはあります。まだ実感は湧きませんが、地域のためにも、僕たちがリードしていきたいです。

「あなたです 火のあるところの 見はり役」

空気が乾燥し、また暖房機器を使うことからの季節は火災が発生しやすくなります。住宅火災は、簡単な取り組みで未然に防ぐことができます。自分と家族の身を守るため、普段から火災予防に心がけましょう。



住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

園児が防火を呼びかけパレード

秋の全国火災予防運動期間中の11月15日、ひばり保育園幼年消防クラブの園児約50人が、庄内町で防火パレードを行いました。

参加した園児たちは、おそろいの法被姿で拍子木を力チカチと鳴らしながら、元氣いっぱいに行進。沿道の人たちに、「ガスの元栓気をつけて」と、かわいい声で防火を呼びかけました。



おおいた年末・年始の事故ゼロ運動

平成17年12月15日 ▼ 平成18年1月4日

年末年始は、忘年会や新年会などでお酒を飲む機会が増える時期。飲酒運転による交通事故も多くなるので注意が必要です。「ちょっと飲んだだけだから」「運転には自信があるから」などというって運転するのは大きな間違いです。



飲酒運転による事故が増加中

飲酒運転による悲惨な交通事故が後を絶ちません。平成14年6月に飲酒運転の罰則引き上げなどを内容とする改正道路交通法の施行された後は、飲酒運転による交通事故件数が大幅に減少しましたが、施行後3年を経た今年上半年、その数は増加しています。

家族、知人など周りの人も十分な注意を

飲酒運転は、死亡事故などの重大事故につながる危険な運転行為です。人の命を奪い、運転した人自身の将来も奪います。「酒を飲んだら車を運転しない」「酒を飲んだ人には運転させない」「運転する人には酒を出さない、すすめない」の3つを厳守しましょう。

懐中電灯を持って歩きましょう！

「安全・安心懐中電灯」は、非常灯付きの懐中電灯に反射シール、反射スラップを付けたもので、ドライバーからも見やすくなっています。早朝、夕暮れ、夜間の外出は明るい服装で、懐中電灯をぜひ活用ください。

問い合わせ

県交通安全推進協議会

☎ 097-536-1111

(内線3061)

由布市総務課

☎ 097-582-1111

(内線205)



非常灯付懐中電灯(写真左)
(本体・電池・反射スラップセット)1,000円
非常灯付ペンライト(写真右)
(本体・電池・反射スラップセット)850円

新農家暦・農業日誌・ファミリー日誌予約受付中

「言葉の歳時記」、「お国じま」など楽しく読みながら日々の生活を綴ることができる「農業日誌」と「ファミリー日誌」。また、農家の実用ハンドブックとして好評な「新農家暦」。ただ今予約受付中です。

●農業日誌

B6版600ページ
予約価格1,300円

●ファミリー日誌

B5版340ページ
予約価格1,300円

●新農家暦

A5版88ページ
予約価格300円

申込期限：12月28日（水）
申込先：由布市農政課（挾間町）、市民サービス課農林係（庄内町・湯布院町）

工業統計調査にご協力ください

工業統計調査は、我が国の工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的として、製造業を営む事業所を対象に、全国一斉に行う重要な経済調査です。

調査期日は毎年12月31日現在です。調査の実施に当たって

は、本年12月から来年1月にかけて統計調査員が訪問し、調査票の配布・回収を行います。

なお、調査票に記入していた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いいたします。

問い合わせ

由布市総合政策課統計係

☎09715821111
(内線218)

大分県民手帳を販売します

暮らしやビジネスに役立つ、ふるさと情報満載の県民必携の便利手帳です。

定価：大型500円

小型400円

内容：日記編（カレンダー、県内の主な行事、日記など）、資料編（大分県の概要、県内市町村別データなど）、名簿編（県議会議員、市町村役職者など）、生活編（郵便料金表、キャンプ場など）

購入方法：各振興局地域振興課で取り扱っています。代金を添えてお申し込みください。

問い合わせ

由布市総合政策課統計係

☎09715821111
(内線218)



おしえて!国民年金

所得税法等の一部改正により、平成17年分の所得申告から、国民年金保険料を社会保険料控除として申告する際に、1年間に納めた国民年金保険料を証明する書類「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」を年末調整や確定申告の際に添付することが義務づけられました。申告を行うまで大切に保管してください。
※従来送付されていた「国民年金保険料の納付額のお知らせ」の代わりとなるものです。

●11月または翌年2月に送付されます

①11月上旬に送付される方

1月1日から9月30日までの間に、国民年金保険料を納めた方です。

②2月上旬に送付される方

10月1日から12月31日までの間に、その年に初めて国民年金保険料を納めた方です。

●問い合わせ、控除証明書の再発行等は

控除証明専用ダイヤルへ

☎0570-009911（平日9:00~17:00）

※一般電話・公衆電話から市内通話料金でご利用できます。

※PHS及びIP電話など一部ご利用できない回線があります。

農業委員会委員の選挙人名簿の登載申請は来々年1月10日までに

農業委員会委員の選挙人名簿を調整します。

この名簿は、対象者の方から提出された登載申請書をもとに、選挙管理委員会が作成します。該当する方は、平成18年1月1日現在の状況を記入して、1月10日までに提出してください。申請書の配布と取りまとめは、挾間・庄内地域は各自治委員さんに、湯布院地域は各小組合長さんをお願いします。

提出のない場合は、選挙権を失い投票ができません。該当する方は、必ず提出してください。

対象者

- ・由布市内に住所を有する人
- ・満20歳以上の人
- ・10アール以上の農地を耕作している人またはその同居の親族や配偶者が年間おおむね60日以上耕作している人

問い合わせ

由布市農業委員会

☎097-583-1111
(内線1351~1353)

インフルエンザは

手洗いやうがいが基本です

■ 人混みなどから帰宅した際には、手洗い、うがいをしましょう。

■ 流行時期は、おおむね1月から3月です。

■ せきなどの症状を有する方が医療機関を受診する際は、必ずマスクを着用しましょう。



受けましたか？ 高齢者のインフルエンザ予防接種

県内どの医療機関でも接種できます。

高齢者の方(原則、接種日現在で65歳以上の方)が、インフルエンザ予防接種を希望する場合は、予防接種法(定期の予防接種)の対象者として接種を受けることができます。

接種期間 11月1日～1月31日まで

接種回数 1人1回接種

接種料金 自己負担分1,000円

ただし、生活保護世帯は無料になりますので、事前に湯布院は福祉対策課、庄内・挾間は市民サービス課に申し出てください。

持参品 接種方法

健康手帳及び住所確認のできるもの(保険証等) 県内の医療機関(大分大学医学部附属病院等の一部医療機関を除く)に直接申し込んでください。

麻しん(はしか)と 風しんの予防接種 は済みましたか

平成18年4月1日から、麻しんと風しん予防接種の接種方法が改正されます(内容は市報11月号参照)。対象の方には個別に通知していますが、何より早期に予防接種することが重要です。

現在、麻しんと風しんの予防接種の対象者(1歳～7歳6カ月の者)で、まだ麻しんと風しんの予防接種を受けていないお子さんがいらっしゃる保護者の方は、かかりつけ医とよく相談し、ぜひとも早期に接種を受けることをお勧めします。

問い合わせ

由布市健康増進課

☎0977-184-1311

(内線332 / 336)



休日在宅当番医

●内科・外科医

- 12/11 佐藤医院(庄内) ☎097-582-3131
- 12/18 南由布クリニック(湯布院) ☎0977-85-5245
- 12/23 さとう消化器・大腸肛門クリニック(挾間) ☎097-583-8050
- 12/25 新こどもクリニック(挾間) ☎097-583-8277
- 12/29 湯布院厚生年金病院(湯布院) ☎0977-84-3171

●歯科医

- 12/11 野上歯科クリニック(湯布院) ☎0977-85-4676
- 1/8 木本歯科クリニック(挾間) ☎097-583-3385

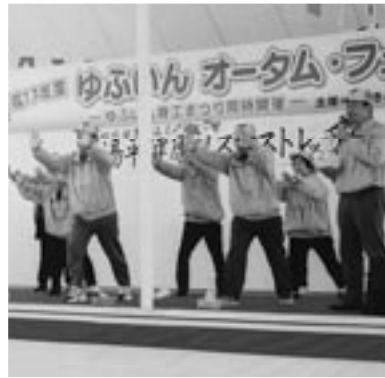
正しい受診は

- ・急患の場合は、まずかかりつけ医に連絡をとりましょう。
- ・症状に応じて最寄りの専門医に診せましょう。
- ・交通事故等は救急告示病院に診せることが望ましいでしょう。

由布市地域健康推進員が誕生

市民の保健衛生にかかわる健康づくり組織として、由布市地域健康推進員の委嘱式が11月15日から11月21日にかけて、挾間・庄内・湯布院の各庁舎で行われました。市長から委嘱状の交付が行われ、挾間地域52人、庄内地域55人、湯布院地域62人の地域健康推進員が誕生しました。研修会では、「くすりを正しく使うために」と題した県薬剤師会の永井教義さんの講話などがあり、薬の服用中の注意やサプリメントなどについて学びました。

また、11月20日に湯布院で「オータムフェア」が行われ、



湯平地区の地域健康推進員が中心となって、「湯平健康リズムストレッチ」の体操を会場の方と一緒に行いました。今後、この体操を由布市に広めていきたいと思しますので、機会のあるときは、ぜひ参加してください。

食の大切さを学ぶ



11月27日、庄内町柚の木公民館で「おやこ食育教室」が行われました。由布市食生活改善協議会庄内支部が開いたもので、大津留小学校の児童や保護者などが参加。オードブル寿司やお吸い物などをみんなで楽しく作りました。保護者からは、「子どもと料理を作ることでふれあいができ、また、食事のことを考えるよい機会になった」と好評でした。

今月の税

- 市民税(4期分)
- 国民健康保険税
 - 庄内・挾間(7期分)
 - 湯布院(9期分)
- 入湯税12月期分(11月分)

納期限

挾間(市民税)12月26日(月)
 (国保税)1月4日(水)

庄内(市民税・国保税)12月26日(月)
 湯布院(市民税・国保税)12月26日(月)

□ 座振替日 12月26日(月)

※ 挾間分の国保税・介護保険料の納期は、平成18年1月4日ですが、口座振替につきましては、合併に伴い由布市として振替日統一のため、12月26日といたします。

健康カレンダー

- 湯布院**
 - 12月10日(土) 小平老人クラブ健康づくり事業 (9:00 小平公民館)
 - 12月13日(火) ありんこひろば(0・1歳合同) (10:00 子育て支援センター)
 - 12月22日(木) 10~11カ月児健診(12:45 健康管理センター)
- 庄内**
 - 12月14日(水) 第3回健康づくり教室 (9:30 庄内保健センター)
 - 12月15日(木) 平石老人会介護予防教室 (9:00 平石公民館)
 - 12月16日(金) 1歳半・3歳児健診(13:15 庄内保健センター)
- 挾間**
 - 12月13日(火) ゆうゆうクラブ(10:00 挾間健康センター)
 - 12月14日(水) 10~11カ月児健診(13:30 挾間健康センター)
 - 12月16日(金) ちびっこ広場(9:30 挾間健康センター)
 - 12月20日(火) 挾間料理教室(9:30 挾間健康センター)
 - 12月22日(木) 3歳児健診(13:30 挾間健康センター)



秋 私たちのまちクリーン大作戦

「おおいた教育の日」ふれあいキャンペーンと合わせて湯布院町で11月3日、教育委員会主催の「秋！私たちのまちクリーン大作戦」が行われました。この日は、町内の小中学校の児童や生徒、成人ボランティア約50人が参加。3コースに分かれて、まちの中のゴミ拾いや河川敷散歩道の草刈りをし、子どもたちで作った看板を立てました。

この催しも11回目となり、今回は草が伸びている散歩道をだれでものんびり歩けるようにと草刈りを加えました。カズラなどがはびこって作業が大変でしたが、ビーバー隊のおかげで見違えるほどきれいになりました。

作業終了後は恒例の食事。地産の食材で作ったおにぎりや芋煮は格別美味しく、みんなの笑顔であふれていました。この触れ合いのなかで子どもたちも大人もお互いに何かを感じとった一日でした。次回は1月に行う予定です。低年齢化している事件や事故から、子どもを守るための学びをゴミ拾いの前に計画しています。皆さんの参加をお待ちしています。

●問い合わせ
湯布院公民館内

「湯布院青少年ボランティアサポートセンター」
☎0977-8412604



平成18年「由布市成人式」のお知らせ

由布市となって最初の成人式を行います。

日時◆平成18年1月9日(月) 成人の日

《受付》午前10時～

《式典》午前11時～

場所◆はさま未来館文化ホール(由布市挾間町)

対象者◆昭和60年4月2日～昭和61年4月1日

までに生まれた方

※なお、由布市に住民票がない方でも参加できますので、12月22日(木)までに生涯学習課へご連絡ください。



問い合わせ

由布市教育委員会生涯学習課

☎0977-8413111 (内線2322・2325)

年末年始のゴミ収集日程

年末年始の各地区の可燃物のゴミ収集日程についてお知らせいたします。12月31日から1月3日の間は、可燃物・不燃物・資源ゴミ・古紙の収集は行いません。

■年末の可燃物最終収集日



12月30日(金)	12月29日(木)
<p>挾間町 庄内町全域</p> <p>湯布院町</p> <p>〔挾間地区(時松自治区を除く)・由布川地区・石城川地区〕</p> <p>塚原・津江・岳本・湯坪・中島・佐土原・並柳・若杉・乙丸1・乙丸2・乙丸3・新町1・新町2・荒木・妙徳及び横断道路沿いののみ</p>	<p>荒木(妙徳及び横断道路沿いを除く)・石武・光永・東石松1・東石松2・東石松3・西石松・山崎・平・中依・下依・前徳野・内徳野・槐木・畑倉・奥江・上津々良・下津々良・鮎川・湯平1・湯平2・湯平3・畑・小平・幸野・水地・東急・スポーツセンター!・自衛隊</p>

■新年の可燃物収集開始日

1月6日(金)	1月5日(木)
<p>挾間町 湯布院町</p> <p>〔挾間地区(時松自治区を除く)・由布川地区・石城川地区〕</p> <p>塚原・津江・岳本・湯坪・中島・佐土原・並柳・若杉・乙丸1・乙丸2・乙丸3・新町1・新町2・荒木・妙徳及び横断道路沿いののみ</p>	<p>庄内町全域</p> <p>挾間町 湯布院町</p> <p>〔谷地区(同尻自治区・田ノ小野自治区を含む)・時松自治区〕</p> <p>荒木(妙徳及び横断道路沿いを除く)・石武・光永・東石松1・東石松2・東石松3・西石松・山崎・平・中依・下依・前徳野・内徳野・槐木・畑倉・奥江・上津々良・下津々良・鮎川・湯平1・湯平2・湯平3・畑・小平・幸野・水地・東急・スポーツセンター!・自衛隊</p>

不明な点は、由布市環境課・挾間及び庄内庁舎市民サービス課商工環境係、または由布大分環境衛生組合までお問い合わせください。



キ★ラ★リ★編★集

本格的な冬を迎え、当方の周囲にも風邪引きが多くなっています。先般も友人から「昨日、君と街で別れた後、今朝になって体調が悪いので医者に行ったら、インフルエンザだったよ。君は大丈夫かい？」と連絡がありました。当方は異常なし。インフルエンザにも要注意ですね。

◆ここ近年は軽い鼻風邪程度で、本格的な風邪を引いたことはありません。「風邪かな？」と思った時は、自宅庭のカボスを使ったカボス湯を飲んで、サツサと寝ることにしています。「風邪は万病の元」。十分な注意が必要ですね。そして、良い正月＆美味しい正月を迎えたいです。 * (こ)

気がつけば12月。今年も残り1カ月をきってしまった。由布市誕生となったこの1年間は、とにかく慌ただしく、例年より月日の経つのを早く感じた気がします。

◆12月とって思い浮かぶのがクリスマス。イルミネーション点灯などが、ニュースで流れるようになりました。最近では、各家庭でもイルミネーションを楽しむことが多くなったようで、売場にはクリスマス関連商品がずらりと並んでいます。今年は発光ダイオード(LED)など、鮮やかな光のイルミネーションが人気ようです。私も部屋に、手作りのリースやサンタの人形などを並べてみました。雑然とした部屋のなかで、ちよつと浮いた感じ。やっぱり部屋を掃除しなきゃダメだな。 (ゆ)

ゆふ
UFU City情報広場

2005
DECEMBER
12
Vol.3

PH: 「100回めざして、1・2・3…」
由布院小「ゆふっ子まつり」より

まちのスポットライト

ハッピーバースデー
さわやかキッズ
まちかどズームアップ

View ゆふ

大にぎわい! 秋の催し

DEAR 図書館だより

みんなの広場

「私たちと一緒にがんばってみたいという方はぜひ連絡して
▼ください」と橋野社長（右）と専務



豊かな発想で色彩豊かな病衣へ

挾間町東行

クリニカル・サポート大分



▲選べる楽しさのある病衣やシーツ

まちの スポットライト vol.2

このコーナーは
「元気な人とまち」を応援するために
シリーズで掲載していきます。

クリニカル・サポート大分は医療・高齢者施設向けのリネンサプライ業を営む中で、花柄のシーツや白色以外の病衣を提供しています。

提供は昨年からはじめ。施設関係者や利用者からも大変好評で、取引先が次々と広がり、県内はもとより、宮崎県や熊本県までエリアが拡大しています。

「妻が入院した時に、白色ばかりのシーツや病室の色を見て、ヒントを得ました」と橋野真治社長。

花柄は特に施設入所の高齢者に人気があり、自分で枕カバーの交換をしたり、シーツ類を大切に扱うようになるようです。また、自分の持ち物や部屋がわからない高齢者にも、花柄のシーツはその目印になるなどリハビリ効果も現れているそうです。

多くの種類のデザインから利用者自身が選べる楽しさも、リハビリ効果もあるようです。

橋野昌子専務は「施設で利用者のベッドメイキング中に、隣の方から私のものも替えてほしいと言われるんです。その方は普段は人との対話であまり反応のない人だと教えられて、花柄にするだけでこんなにも効果があるんだなと驚きました」と話します。

「花に囲まれ、幸せな気分を得られるような入院・入所生活を送ってほしい」。そんな願いもこめられています。

病院ではシーツ類の色を白色から変えることがなかなか難しいため、主に病衣を柄物にして提供を始めています。見せてくれた病衣は着て楽しくなるデザインで、入院生活が明るくなりそう。

会社では、これまでの業績を分析しながら、今後は花柄以外のデザインも開発し、利用者のニーズに応じていくことを目指していきます。

「由布市から、そして大分から大いにPRしたい」と橋野社長が力強い抱負を話してくれました。



スポーツにがんばる
子どもたちを紹介します

由布さわやかキッズ②



元気よくシュート!

湯布院ジュニアフットボールクラブ (湯布院JFC)

クラブは創部20年を超え、毎週月、水、金曜日の17時から19時まで由布院小学校グラウンドで活動しています。現在部員は小学生53名。5名の指導者のもと、元気よくボールを追っています。

開始時間になれば、子ども達はお互いに声をかけ自主トレを始め、指導者が到着時には身体のアップができています。全員が積極的に動き、しっかりと自分たちの役割をキチンと果たしています。

大分市と大分県トレセンに、チームから2名が選ばれるなどクラブの活躍も素晴らしいものがあります。

トレセンの一人で主将の三宅涼太くん(小6)は「全国をつかみたい」と夢を抱き、将来は外国留学を目指しています。守備はMFであこがれの選手はフランスのアンリ選手。

指導陣は「サッカーだけでなく、礼儀やあいさつを学ぶことも大切。子ども達にはサッカーの練習を通じて、自分の仕事や役割を見つけて最後までやり遂げる人間に育ってほしい」と期待しています。

クラブでは現在部員を募集中。女子部員もいるので、興味のある女の子もぜひ来てみてください。



ハッピー12月バースデー

HAPPY BIRTHDAY TO YOU!



よしくら あや
吉倉 亜弥ちゃん

平成15年12月18日生 扶間町古野

よく食べてよく寝てよく遊び、元気いっぱいの優しい子に育ってね。

さとう まさかず
佐藤 正和ちゃん

平成16年12月25日生 庄内町五ヶ瀬

好奇心いっぱいの毎日。周囲の皆さんの温かさに感謝しています。これからも一緒に成長を見守ってくださーいね。



これなが しんたろう
是永 真太郎ちゃん

平成14年12月12日生 湯布院町川上

皆の愛情を沢山受け育っています。そのおかげでひょうきん者！毎日、楽しく過ごしています。

おの そうや
小野 颯也ちゃん

平成15年12月9日生 湯布院町川上

最近おしゃべりが上手になったそうやくん。元気で優しい子になってね。



お誕生日コーナーにお子さんの写真を掲載したい保護者の方は、事前に市役所総合政策課へ電話でお申し込みください。対象となるのは、3歳以下のお子さんで旧3町広報紙のお誕生日コーナーに掲載されたことがない方とします。2月号掲載分は1月20日を締切とします。

申込先 由布市総合政策課広報広聴係 ☎097-582-1111 内線217

View

このコーナーでは、☆キラリと
輝く若人を応援します！

ゆ承

めざせ、なでしこサッカー！

「湯布院SA」新田 沙代さん & 日野 綾香さん

JFAレディファミリーサッカーフェスティバル2005で優勝

11月6日に大分スポーツ公園サッカー・ラグビー場で『JFAレディファミリーサッカーフェスティバル2005』が開かれました。大会には16チーム147人が参加。その大会で見事に優勝を果たしたのが「湯布院SA」チームです。

競技はフットサル(※)で、大会規定で女子が常に2人プレイしなければならず、今回の優勝の原動力となったのが新田沙代さん(小6)と日野綾香さん(小5)。得点もあり、大活躍だったそうです。2人は現在、湯布院JFCというサッカークラブで男子に混じって元気よくプレイしています。

湯布院SAの「SA」は2人の名前の頭文字をとったもの。「優勝したいと思っていただけに、うれしかったし驚きました」と沙代さん。「雨でグラウンドコンディションが悪くて大変でした」と綾香さんはゲームを振り返ります。

チームコーチ陣も「やさしいけど、2人とも徐々に上手くなっている」と期待を寄せています。

「サッカーが大好き」という2人、沙代さんは昨年、綾香さんは今年4月からサッカーを始めました。大会では相手のマークも厳しかったようです。ポジションは沙代さんがハーフ、綾香さんはトップ。「ドリブルでかわし、パスをつなげてがんばった」と沙代さんは勝因を話します。

男の子に負けない気迫とプレイでがんばる2人は、サッカー練習を通じ、走り込みにも慣れ、持久力もついたようです。

「めざせ、なでしこサッカー！」と勢いよくボールを追い続けます。

フットサル(※)

5人制の室内サッカー。1987年に国際サッカー連盟により世界統一ルールができ、1989年初の世界大会が開催された。フィールドは縦が38~42m、横が18~22m、ゴールは高さ2m、横3mで、20分ハーフで試合が行われる。



▲「もっと女の子がチームに入ってほしい」という沙代さん(左)と綾香さん



▲元気に練習

▼楽しい出店いっぱいのふるさと祭り



ふるさと祭りも同時開催でした 庄内神楽祭り

勇壮な神楽の舞でした

▼子どもに御利益がありますように



▲もちまきに参加の首藤市長

11月3日に「第16回庄内神楽祭り」および「第24回ふるさと祭り」が庄内総合運動公園内で開かれました。
当日は早朝よりあいにくの雨となり、神楽祭りは隣接の屋内競技場で開始。しかしながら、午前中の中途から晴天となったため、神楽殿でも開催となり、2部公演となりました。16団体によるおよそ9時間の神楽の舞が披露され、つめかけたおよそ8,000人の観客から盛んな拍手が贈られました。また、場内のふるさと祭りも大盛会でした。



▲息もびったり!



▶練習の成果を披露する子ども神楽



▲よし!準備OK!

☆もちまきでは、田辺哲夫さん(庄内町高岡)から赤米でついたもちを寄贈していただきました。



▲「こっちに投げて〜」と人だかりのできたもちまき



▲ジャンボカボチャの重さ当てに挑戦する来場者



▲大相撲に負けない熱戦が続いた「子ども相撲大会」



▲「はい!」全部食べたよ(やせうまの早食い競争)



▲オールディーズの曲で会場も盛り上がったステージ



◀素人のど自慢大会
グランドチャンピオンの
長野耕平さん
(三船地区出身)

大にぎわいのきちよくれ祭り

20回目を迎えた「はさまきちよくれ祭り 2005」が11月12日、13日の2日間、挟間中洲賀グラウンドで開かれました。

好天に恵まれ、市内外から多くの方が来場。ステージでは、ウルトラ○×クイズや素人のど自慢大会、マジックショー、文化協会の芸能発表など多彩な催しが行われました。会場内には食べ物や地元の農産物などの出店が並び、挟間が発祥の地とされる「やせうま」の無料配布には長い行列ができていました。

また、恒例となったパフォーマンスダンス大会には5チームが出場し、カラフルな衣装や個性的なダンスを披露し、祭りを盛り上げてくれました。



▲ユニークな仮装とチームワークで谷中村チームが優勝(パフォーマンスダンス大会)

やせうま祭りも
ありました



◀ かわいい子どもたちが登場のベビーピック



大にぎわいの会場

湯布院の秋の楽しい1日

11月20日、由布院小学校グラウンドで「ゆふいんオータムフェア」と「商工会まつり」が開かれました。



◀ 健康相談コーナーにも多くの人が集まりました

晴天にも恵まれ、当日は多くの来場者ににぎわいました。メインステージでは、かわいい子どもたちに大声援のベビーピック、湯平健康リズムストレッチや子ども神楽など多くの芸能発表がありました。

場内テントでは健康相談、健康料理や環境保全など各コーナーを設置。また、産品販売や食のコーナーもあり、訪れる人は地元名物料理を味わっていました。

隣接の湯布院公民館では、公民館まつりも開かれ、各教室や講座グループが日ごろの成果を発表しました。



▲ 陸上自衛隊湯布院駐屯地音楽隊の演奏



◀ 健康が一番のストレッチ



▲ 茶道グループのもてなし



▲ 公民館教室の発表会



▲ パッタン、パッタンおもちつき

まちがどズームアップ



挟間

祭りの裏方として協力

九州電力大分支店技術部職員と西技工業株式会社社員の約20人が11月11日、挟間地域の清掃奉仕活動を行ってくれました。当日はあいにく朝から雨が降り続き、雨具をつけての作業となりましたが、翌日に控えた「きちよくれ祭り」の会場となる挟間中洲賀グラウンドや大分川の河川敷などを1日かけてゴミ拾いをしてくれました。この活動は4回目となり、毎年祭りの裏方として貢献してくれています。

庄内

ゴミのないまちに

11月13日、庄内町女性団体連絡協議会のクリーンキャンペーンが行われました。この協議会は、庄内地域の6つの女性団体で組織しており、毎年、環境美化活動の一環として清掃活動を行っています。早朝で白い息を吐きながらのゴミ拾いとなりましたが、各団体ごとに国道沿線をきれいにしてくれました。会長の吉瀬千佐子さんは、「ゴミのないきれいなまちであってほしいと思います」と話していました。



庄内

訪れる人が気持ちよい祭りに

庄内神楽祭りの会場を訪れる方が気持ちよく過ごせるようにと、大分建物管理有限会社の皆さんが10月27日、祭りの会場となる庄内総合運動公園内や天神山駅前など数カ所のトイレ清掃を行ってくれました。「神楽祭りのときは多くの方がトイレを利用します。トイレがきれいだと気持ちいいですから」と、隅々まで美しくしてくれました。この活動も3回目となり、祭りをもりたててくれています。



挟間

いろんなことにチャレンジ!

由布川小学校の通学合宿「のびのび共同生活体験」が11月6日から11日まで、はさま未来館で行われました。参加した5・6年生の30人は、みんなで協力して食事作りなどに取り組みました。また、毎日いろんな体験活動にも挑戦。陶芸では土の感触を楽しみながら、思い思いにコーヒーカップを作り上げていきました。子どもたちは親元を離れ共同生活を送ることで、自立心や協調性を養う貴重な機会となりました。





真重さんが統計調査で感謝状受賞

「統計の日」の記念式典が10月26日、大分市のソフィアホールで行われ、農林水産業の統計調査に功績のあった県内の農林漁家27人に農林水産大臣感謝状が伝達されました。

由布市からは、真重昇さん(庄内町高岡)が受賞されました。真重さんは、永年にわたって、農業経営調査に協力され、農業経営改善のための政策推進に貢献されたことが認められたものです。



地域が育んで130年

創立130周年を迎えた湯布院町の川西小学校が11月13日、児童や地域住民など約180人が参加し、記念の「校区ふれ合い集会」を行いました。5班に分かれた児童は、地域の方の指導でお手玉やしめ縄、竹鉄砲作りに取り組んだり、もちつきをするなどして楽しく交流。また、児童が調べた地域の歴史の研究発表展示や三世代交流スポーツ大会なども行われ、地域で130年を祝いました。



連帯感を深め防災力を高める

11月6日、庄内町大龍西部区主催のふれあいスポーツ大会が、豊後大分家畜市場で行われました。あいにくの雨となりましたが、地区民約110人が参加し、グラウンドゴルフや玉入れなどの競技を楽しみ、親睦を深めました。また、今回初めて、地域の防災力を高めるために、由布市消防署員の指導で、消火訓練や心肺蘇生法の救急訓練なども行いました。参加者からは「正しい対処の仕方を学ぶ貴重な機会になった」と好評でした。



湯布院食推協が南・賀屋賞を受賞

10月28日、大阪厚生年金会館で行われた全国食生活改善大会で、旧湯布院町食生活改善推進協議会(黒田待江会長)が、南・賀屋賞を受賞し、橋本龍太郎運営委員長から表彰を受けました。この賞は地域の食生活改善及び食文化の担い手として健康づくりに多大な貢献のあった団体に贈られるものです。会員の皆さんは、この受賞を励みに由布市食生活改善推進協議会の一員として、地域に貢献したいと決意を新たにしていました。



図書館だより — Vol.3

DEAR ディア

由布市立図書館

☎097-586-3150

http://www2.town.hasama.oita.jp/
mail:h.tosho@city.yuhu.oita.jp



想像力は、知識よりも大切だ。
知識には限界がある。
想像力は、世界を包み込む。

「アインシュタイン150の言葉」より(株)ディスカヴァー・トゥエンティワン刊

児童文化祭が行われました

去る11月6日はさま未来館で恒例の児童文化祭が開かれました。

手品や、腹話術など交え楽しいおとぎの世界が繰り広げられ、時の経つのも忘れる半日でした。



由布市立図書館では、ご希望があればどこへでも出かけて行く「おはなしキャラバン隊」があります。未来館まで出かけられない地域の子供達には、キャラバンのご利用をお勧めします。

●お問い合わせは市立図書館まで



12月のテーマ展示

「クリスマス」

今や国民的な行事となってしまうクリスマス。あなたにとってクリスマスって何。



12月のミニ展示

「クリスマスとポップアップ絵本」

市立図書館秘蔵の美しいしかけ絵本を公開します。お楽しみに。

返し忘れの本ありませんか？

そろそろ年末の大掃除をしますか？
返し忘れの図書館の本が見つかりましたらお早めにお返してください。

24時間返せるブックポストが1階(管理人室窓)と3階(人道橋からの入り口)にあります。ご利用ください。

庄内、湯布院の図書室に返却いただいてもかまいません。



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休館日

おはなし会

挟間 12月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休室日

パソコン休室日

湯布院 12月のカレンダー
湯布院図書室からお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休室日

庄内 12月のカレンダー
庄内図書室からお知らせ



試験

大分県臨時職員登録試験

大分県では、県の本庁及び県内地方機関において事務補助を行う臨時職員の採用候補者名簿登録試験を実施します。

試験日 平成18年2月12日(日)の予定

募集期間 12月19日(月)～平成18年1月13日(金)

応募書式配布先 県庁人事課、県の各地方振興局

※県のホームページ

(<http://www.pref.oita.jp/11200/rinji>)
にも掲載します。

問い合わせ 県人事課 (☎097-536-1111
内線 2312)

相談

民事介入暴力集中相談

暴力団が絡んだことは早い相談が決め手です。

日時 12月13日(火) 午前10時～午後4時

場所 別府市中央公民館別館(別府市上田の湯町)

内容 暴力団等が関係した被害や不当な要求などの困りごと相談

相談員 弁護士、暴力団担当警察官、暴力追放相談委員

相談方法 面接、電話 (☎0977-22-3110)

問い合わせ 暴力追放大分県会議
(☎097-538-4704)

年金無料相談会

日時 12月16日(金) 午前10時～午後3時

場所 庄内町商工会館

対象者 庄内地域にお住まいの方

相談員 生野基(社会保険労務士・年金コンサルタント)

申込・問い合わせ 庄内町商工会 (☎097-582-0094)

※事前の予約が必要

無料教育個別相談会

子どもや青少年に関する悩みをお受けします。

日時 毎月第2・3週目の月曜日

午前10時～午後8時

場所 心の支援センター大分活動事務所

内容 いじめや不登校、非行、家庭教育のあり方、人間関係などの相談

申込方法 電話で事前の申込が必要

申込先 大分地区担当(坂本) ☎090-2515-2341

教室・講習会

健全な家庭づくり学習会

子どもの成長を促すための家族関係についての学習会です。

日程とテーマ

12月16日(金)	子どもの理解と問題への対応の仕方
1月20日(金)	親子関係とコミュニケーションの改善
2月10日(金)	子どもの成長と親の望ましいあり方

※毎回(講座) 午後1時30分～3時
(グループ相談) 午後3時～4時30分

場所 大分地方振興局(大分総合庁舎内)

対象者 青少年をかかえる保護者など

参加費 無料

申込先 NPO法人心の支援センター (☎0978-32-3712)

※この事業は、NPOパートナーシップ推進事業として県からの委託を受けて実施しています。

消防設備点検資格者講習

実施日 (第1種) 1月17日(火)～1月19日(木)3日間
(第2種) 1月24日(火)～1月26日(木)3日間
場所 新日鐵明野研修センター「攻玉寮」
対象者 昭和50年自治省告示第 89号第1及び昭和50年自治省告示第11号に規定する受講資格を有する者
受付期間 12月12日(月)～平成18年1月10日(火)
申請書配布先 大分県消防防災課、大分市消防局、各消防本部等
受講料 区分ごとに33,000円(テキスト代含む)
問い合わせ 大分県消防設備安全協会 (☎097-537-3125)

募 集

放送大学学生募集

放送大学は18歳以上であればだれでも入学でき、テレビ・ラジオを利用して授業を行う正規の大学です。マイペースで学習ができ幅広い分野の科目(約300科目)を揃えています。
出願期間 12月15日(木)～平成18年2月28日(火)
視聴方法 大分学習センターの利用、または放送大学の番組を放送しているCS放送
問い合わせ 放送大学大分学習センター (☎097-549-6612)
※無料体験入学実施中(事前の電話申込が必要)

お知らせ

庄内神楽カレンダー販売中

12神楽座が月替わりで登場する「平成18年庄内神楽カレンダー」を販売しています。数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

価格 1,000円
申込先 庄内振興局市民サービス課
(☎097-582-1111)



おふくろ便をお届けします

ふるさとの味と香りがいっぱいの農産物 や手づくりの特産品をまごころをこめてお届けします。限定100個です。

内容 ①米2kg ②しいたけ100g ③しいたけ味噌150g ④味噌400g ⑤野菜 ⑥カス漬け200g ⑦梅干し 200g ⑧かぼす10個 ⑨あられ150g ⑩小もち10個
価格 3,000円(送料別)
申込期限 12月20日(火) ※12月24日ごろ発送予定
申込先 工房シャクナゲ(庄内農産加工センター ☎ FAX097-582-0088・午前中)

スポーツ

由布市における柔道の普及や選手強化、親睦を目的に、第1回クラブ地区対抗由布市親善柔道大会が11月20日、挾間中学校柔道場で行われました。団体戦、個人戦に約90人が出場し、熱戦が繰り広げられました。団体戦では挾間Aが見事優勝、個人戦各部の優勝者は以下の通りです。

団体戦 1位 挾間A、2位 挾間B、3位 庄内、4位 湯布院
個人戦 小学1・2年男女 桑名 光泰(湯布院柔道教室)
小学3・4年男女 工藤正太郎(挾間町少年柔道C)
小学5・6年男女 岡松 貴之(挾間町少年柔道C)
中学1・2年男子 浜田 将(挾間町少年柔道C)

中学1・2年女子 河野 愛美(挾間町少年柔道C)
一般男子 佐藤 聡晃(庄内柔道教室)
一般女子 小野みゆき(挾間町少年柔道C)

